

# 関西医大病院 外科 News

Nov.2018

関西医科大学附属病院の  
外科（消化管外科・肝臓外科・胆膵外科・乳腺外科・小児外科）  
についてご紹介いたします



関西医科大学附属病院  
KANSAI MEDICAL UNIVERSITY HOSPITAL



■ 実績【2017年11月～2018年8月】

手術症例	94例
術後合併症発生	8例（全例軽快退院）
術後もしくは入院死亡発生	0例
同種血輸血	18例 / 全肝切除79例中 （23%）

手術術式	
肝門部胆管がん根治手術	5例（血行再建2例）
開腹肝切除術	
3区域切除術	1例
2区域切除術	21例
1区域切除術	19例
亜区域切除術	8例
部分切除	10例
開腹焼灼術	4例
腹腔鏡下肝切除	15例
腹腔鏡下脾臓摘出術	4例
腹腔鏡下天蓋切除術	7例

対象疾患	
原発性肝細胞がん	40例
肝内胆管がん	6例
転移性肝がん	27例
肝門部胆管がん	5例
肝膿瘍	2例
肝内結石・血管腫	3例
肝のう胞	7例
脾臓疾患	4例

その他	
切除不能肝細胞がんに対する分子標的薬使用	約3例/月（累計202例）
切除不能進行肝がんに対するSorafenib + 動注CDDP	約1例/月（累計47例）
障害肝併存肝細胞がん手術症例に対する周術期運動療法	約2例/月（累計122例）
胆管がん化学療法導入	約3～5例/月
慢性肝不全に対する集学的治療	約3～5例/月

# 肝臓外科 診療教授 かいぼり まさき 海堀 昌樹

私は、合併症を起こさない、安全かつ丁寧な手術を行うことをポリシーとし、年間 100 例以上の原発性肝細胞癌、転移性肝癌、胆管癌、巨大血管腫などの肝切除術を、指導医および執刀医として担当して参りました。今後もさらに「手術手技の的確さ」「手術進行の円滑さ」「術野の完成度」を追求し、多くの患者さんにご満足いただけるよう、より高度な治療のご提供を目指して精進していく所存です。また、これまで以上に周辺地域の病院、診療所とのネットワークを強固なものとし、地域医療の発展に寄与していきたいと考えております。常に患者さんにとって一番良い治療方針をご提案し、患者さんと医師のお互いが強い信頼関係で結ばれた心の通った医療、それこそが当科の信念です。

## ■ 肝臓外科の特色

### 《手術前の取組み》

- ✓ 治療戦略を詳細に検討することで手術時間の短縮、出血量の減少、術後合併症発生抑止を目標としています
- ✓ 事前の自己血貯血（200~600ml）を行い手術時に返血することで同種血輸血を回避しています

### 《手術中の取組み》

- ✓ 肝胆膵外科高度技能指導医 1 名、肝胆膵外科高度技能専門医 2 名が在籍し、高難度手術を安全に行います
- ✓ 画像診断で手術前の発見が困難な微小がんを蛍光ナビゲーションシステムにて検出し、根治手術を追及します
- ✓ 肝切除後の胆汁漏を蛍光胆道造影法および細径胆管チューブ留置によりその発生を抑えます
- ✓ 術式の選択は根治性および合併症抑止の観点から患者さんに対するメリットを慎重に検討し選択します

### 《手術後の取組み》

- ✓ 術後回復促進プロトコル（ERAS）を導入しており、患者さんの負担を減らし、早期回復を目指します
- ✓ 慢性肝疾患患者さんに対して栄養療法および運動療法を行っています。医師・看護師・栄養士  
運動指導士によるフォローアップにより体重の減少や骨格筋量を維持する効果を見出しています
- ✓ 80 歳以上の高齢がん患者さんに対して、術前・術後の身体的評価だけではなく  
認知機能障害や鬱症状が悪化しない取組みを行っています
- ✓ 手術を行った患者さんは紹介先施設と連携し、一生涯フォローアップを行います

### 《その他の取組み》

- ✓ 一般的に治療不可能と判断された難治進行性肝癌に対して、動注リザーバー留置によるシスプラチン CDDP  
+ 分子標的薬ソラフェニブ投与による集学的治療を行います

## ■ 外来診療日程

2018 年 11 月 1 日現在

	月	火	水	木	金	土（第 1.3.5）
午前		松井 康輔	海堀 昌樹			石崎 守彦
午後	肝臓運動療法外来 海堀 昌樹 外科運動療法外来 松井 康輔 石崎 守彦		松井 康輔			



## ■ 実績【2017 年度】

手術合計	347 例
膵疾患手術（膵癌根治切除）	86 例（32 例）
胆道疾患手術（悪性）	33 例（30 例）
十二指腸疾患手術（悪性）	4 例（2 例）
その他	15 例
良性胆道疾患（腹腔鏡下胆嚢摘出術）	209 例（188 例）

その他	
単孔式手術	31 例
開腹移行	7 例
初めから開腹手術	14 例
緊急手術	34 例

手術術式	
膵切除	84 例
膵頭十二指腸切除	59 例
膵体尾部切除	19 例
膵全摘	5 例
膵中央切除	1 例
胆道再建を伴う肝葉切除	4 例
肝外胆管切除	5 例
胃腸 / 肝管空腸吻合	5 例
肝床切除	5 例
脾摘	3 例
審査腹腔鏡	15 例
その他	17 例

# 胆膵外科 診療教授 里井 壯平

さとい そうへい

胆膵領域の手術は難易度が高いことから、消化器外科専門医においても完遂困難な手術が多く、より優れた技能を必要とします。当科の特徴は、良性または良悪境界性疾患に対しては低侵襲で痛みの少ない（単孔式）腹腔鏡手術を積極的に行い、進行がんの多い胆膵がんに対しては化学療法などの集学的治療を導入して積極的に高難度手術に取り組み、良好な成績を収めています。現在、肝胆膵外科高度技能指導医1名、高度技能専門医3名、内視鏡外科技術認定医1名が在籍しており、胆膵外科専門病院の名にふさわしい体制で手術を実施しております。京阪沿線を中心とした北河内医療圏の住民の方々に安心・安全・満足度の高い医療を提供するとともに、希少疾患や治療法のない疾患に対して積極的に治療を展開し全国から患者さんを受け入れており、これからも多くの患者さんのご期待に沿えるよう日々研鑽を重ねて参ります。

## 胆膵外科の特色

《胆膵外科で扱う主な疾患と手術》

- ✓胆石症や胆のう炎、膵臓の良性または良悪境界病変に対する（単孔式）腹腔鏡手術（低侵襲手術）
- ✓慢性膵炎や膵仮性嚢胞に対する膵切除術や膵消化管吻合術
- ✓肝外胆道がん（胆管がんや胆のうがん、十二指腸乳頭部がん）や十二指腸がんに対する胆膵外科手術（膵頭十二指腸切除術を主とする高難度手術）
- ✓切除不能膵がんに対する審査腹腔鏡検査（微小遠隔転移の診断目的）
- ✓切除可能膵がんに対する膵切除術（血管合併切除を含む高難度手術）
- ✓切除不能膵癌に対する集学的治療で腫瘍縮小を認めた場合に対する膵切除術（血管合併切除を含む高難度手術）

消化器肝臓内科、麻酔科、放射線科、病理診断科、血液腫瘍内科などと密接に連携し、患者さんとそのご家族のライフプランに合わせた最善の治療法を提供しています。

黄疸、発熱、腹痛、食欲不振など多種多彩な症状を認めることがあり緊急対応が必要になる場合が多いため、緊急診療体制の整備、地域連携システムの構築、後送病院の確保により安心・安全・満足度の高い診療が受けられるように心がけています。

チーム医療をモットーとして難治の病気の治療に取り組み、治療の標準化を追求し、高度医療を実践しています。また、新規治療に関する臨床研究も積極的に行っています。

## 外来診療日程

2018年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土（第1.3.5）
午前	里井 壯平 化学療法外来 山本 智久		柳本 泰明 化学療法外来 廣岡 智	山本 智久	里井 壯平 胆嚢・胆石外来 松井 陽一 化学療法外来 山本 智久・柳本 泰明	
午後	化学療法外来 柳本 泰明		胆嚢・胆石外来 松井 陽一 化学療法外来 廣岡 智		胆嚢・胆石外来 松井 陽一 化学療法外来 山本 智久・廣岡 智	



■ 実績【2017 年度】

大腸	
初発大腸がん（直腸癌）（結腸癌）	180 例（63 例）（117 例）
うち：腹腔鏡下手術	160 例
開腹手術	21 例
術式：回盲部切除	22 例
結腸右半切除	33 例
上行結腸部分切除	2 例
横行結腸切除	8 例
結腸左半切除	6 例
下行結腸部分切除	11 例
S 状結腸切除	14 例
前方切除	25 例
低位前方切除	37 例
Hartmann 手術	7 例
ISR	6 例
マイルズ手術	6 例
大腸垂全摘	4 例
炎症性腸疾患	8 例
その他（イレウスなど）	13 例

胃	
初発胃がん	132 例
GIST	12 例
肥満手術	9 例
合計	153 例
うち：腹腔鏡下手術	93 例
開腹術	60 例
術式：幽門側切除	90 例
胃全摘	20 例
幽門保存胃切除	2 例
噴門側胃切除	6 例
胃局所切除	19 例
バイパス術	10 例
食道	
初発食道がん手術	40 例
うち：腹腔鏡下手術	32 例
開胸	8 例
食道 stent	5 例
食道憩室	2 例
食道裂孔ヘルニア	2 例
頭頸部領域がんに対する遊離空腸再建	8 例

当科では、治療を受ける側の立場を十分に考え、第一に疾患の根治を、次に機能温存が最小の侵襲で得られる外科治療を目標としています。一日でも早く日常生活へ復帰していただくように、日々の診療を行っています。

## 消化管外科の特色

《消化管外科で扱う主な症状》

- ✓消化管悪性腫瘍（大腸がん、胃がん、食道がん、小腸がん、GIST など）
- ✓下血
- ✓吐血
- ✓腹痛
- ✓腹部腫瘍
- ✓ヘルニア

悪性腫瘍の中でも、大腸がんが胃癌に比べて発症率、死亡率ともに3位以内に入ることからわかるように、当科では多くの悪性疾患の手術を行っています。大腸がん・胃癌・食道がんに対して、年間200・160・40例以上の手術を行い、その80・60・65%以上が鏡視下手術です。進行がんに対する鏡視下手術は、直腸がん・食道がんにおいて特に威力を発揮し、がんの根治性と機能温存を両立しうる技術と考えており、技術開発を進めています。大腸・胃・食道全ての領域において日本内視鏡外科学会の技術認定医がかかわり、安全で確実な手技を浸透させています。また、病的肥満に対する腹腔鏡下手術も行っていきます。

がん化学療法にも力を入れており、患者さんとの十分なコミュニケーションのもと最大の効果が得られるように診療を行っています。

## 外来診療日程

2018年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土 (第1.3.5)
午前	濱田 円 ストーマ外来 【要予約】 認定看護師 下部消化管外来 三城 弥範	井上 健太郎 食道疾患外来 道浦 拓	食道・胃外来 道浦 拓	濱田 円 ストーマ外来 【要予約】 認定看護師	胃外来 井上 健太郎	三木 博和
午後	ストーマ外来 【要予約】 認定看護師	胃内視鏡手術外来 井上 健太郎	食道・胃外来 道浦 拓 上部消化管外来 三木 博和	大腸外来 濱田 円 下部消化管外来 三城 弥範 セカンド オピニオン外来 【要予約】 (大腸がん)	ヘルニア外来 道浦 拓 胃外来 井上 健太郎 上部消化管外来 向出 裕美 オピニオン外来 【要予約】 (大腸がん)	



■ 実績【2017 年度】

手術合計	219 例
入院	196 例
外来	23 例

乳がん手術件数	145 例
術式：乳房部分切除術 乳房全切除術 乳管腺葉区域切除術 センチネルリンパ節生検 腋窩リンパ節廓清 など	



乳がんは日本の女性の12人に1人が発病する最も多い悪性の病気で、死亡率も年々増加しています。しかし、乳がんは早期発見によって90%以上が治せる疾患です。乳がんの治療には手術、放射線治療といった局所治療に加え、抗がん剤、ホルモン剤、分子標的治療薬による全身治療があります。手術だけでなく、全身治療を含めた集学的治療を行うことによって乳がん再発が防止できます。また、手術のできない進行・再発乳がんであっても、がんの特性に見合った薬物治療によって延命や生活の質の向上が期待できます。

当科では、常に科学的根拠に基づいた治療を実践し、患者さん・ご家族に寄り添った安全で安心な乳がん診療を提供いたします。

## ■ 乳腺外科の特色

《乳腺外科で扱う主な疾患》

- ✓ 乳腺疾患（乳がん、乳腺腫瘍、乳腺症、乳腺炎など）

大学附属病院である利点を生かし、関係各科、各領域の専門医（形成外科医、放射線診断医・治療医、病理医、緩和ケアチーム）との密接な連携のもと、手術療法、薬物療法、放射線療法などを組み合わせた集学的治療を行っています。特に抗がん剤の使用にあたっては、症例に応じて多重遺伝子診断（Oncotype Dx）を取り入れ、術前化学療法を積極的に行い、腫瘍縮小による整容性の確保につとめています。さらに、認定遺伝カウンセラーによる遺伝性乳がん卵巣がんの遺伝カウンセリングや遺伝子検査を行っています。現在の標準治療を実践するだけでなく、先進医療や多施設共同臨床試験を通して次世代型医療の開発にも積極的に取り組み、新規医療技術を導入し、患者さんの健康に寄与するよう日々取り組んでいます。

また、精神面でのサポート体制も整っています。併存疾患のある方も関係各科との密接な連携の下、診療を行っています。さらに教育面では乳腺疾患の特性から、とくに女性乳腺外科医の育成にも力を注いでいます。

## ■ 外来診療日程

2018年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土 (第1.3.5)
午前	【要予約】 【初診】 ローテーション	【要予約】 【初診】 ローテーション 乳房再建外来 (1、3週) 【要予約】 山本 大悟	【要予約】 杉江 知治 矢内 洋次 平井 千恵	【要予約】 矢内 洋次	【要予約】 平井 千恵	
午後	【要予約】 杉江 知治		【要予約】 杉江 知治	【要予約】 平井 千恵	セカンド オピニオン外来 【要予約】 杉江 知治	



## ■ 実績【2017年度】

入院治療総数	336 例
低侵襲鏡視下手術	93 例
新生児手術	21 例
鼠経ヘルニアおよび停留精巣手術	148 例
日帰り手術	94 例
1泊2日手術	90 例

小児外科では、小児の病気のうち手術でしか治療できない病気のお子さんを扱っています。小児外科は外科のなかで特化した分野で、成人とは全く異なった病気が多く、そのため手術や管理が異なっていますので専門的な知識や細かな手術手技が必要です。生まれながらにミルクが飲めないような先天的に起きる腸の病気でも、手術で一生問題なく過ごせる病気が多くなってきました。また、大きな傷をつけなくても、同じ手術を小さな傷や目立たない工夫をすることでできるようになっています。手術を受けてよかったとご家族に喜んでもらえるようお手伝いさせていただきます。

## ■ 小児外科の特色

《小児外科で扱う主な症状》

- 【あたま・かお】 耳の前がふくらんでいる、舌がハート型にくびれる・ひきつれる
- 【くび】 くびが腫れている
- 【むね】 むねがへこんでいる、むねにしこりがある、レントゲンで異常な影があった
- 【おなか】 でべそ、おなかがふくらんでいる、おなかがいたい、おなかにしこりがある  
吐きやすい、便秘、血便
- 【おちんちん】 おちんちんの形がおかしい、睾丸の大きさがおかしい、おちんちんの近くを痛がる  
おちんちんの近くがふくらんでいる
- 【せなか・おしり】 せなかが痛い、せなかにしこりがある、おしりのわれ目にえくぼがある、  
肛門がはれる・赤くなる、超音波で腎臓に異常があった、おしっこが汚い

小児の病気のうち手術で治療する分野を広く担当しています。年齢は新生児から15歳までと広く、虫垂炎、腸重積など緊急を要する疾患が多いのも特徴です。取り扱う疾患の中で最も多いものは鼠径ヘルニアで、そのうち合併症のないお子さんには麻酔科、手術室スタッフの協力のもと、1997（平成9）年から導入した日帰り手術で治療を行っています。手術当日も自宅で過ごせることから、ご家族からも喜ばれています。

高度な専門的治療が求められる先天性横隔膜ヘルニア、新生児外科疾患、胆道閉鎖症、先天性胆道拡張症、悪性腫瘍などは小児科の各分野の専門医と協力して治療を行っています。

腹腔鏡下手術を国内でも早くから小児外科疾患に応用しており、急性虫垂炎、肥厚性幽門狭窄症、メッケル憩室、卵巣嚢腫などに応用しています。鼠径ヘルニアでは女兒に腹腔鏡下手術を行っています。最近は特におへそからの腸の手術や人工肛門を積極的に行っており、おなかにできるだけ傷を残さない手術を行っています。

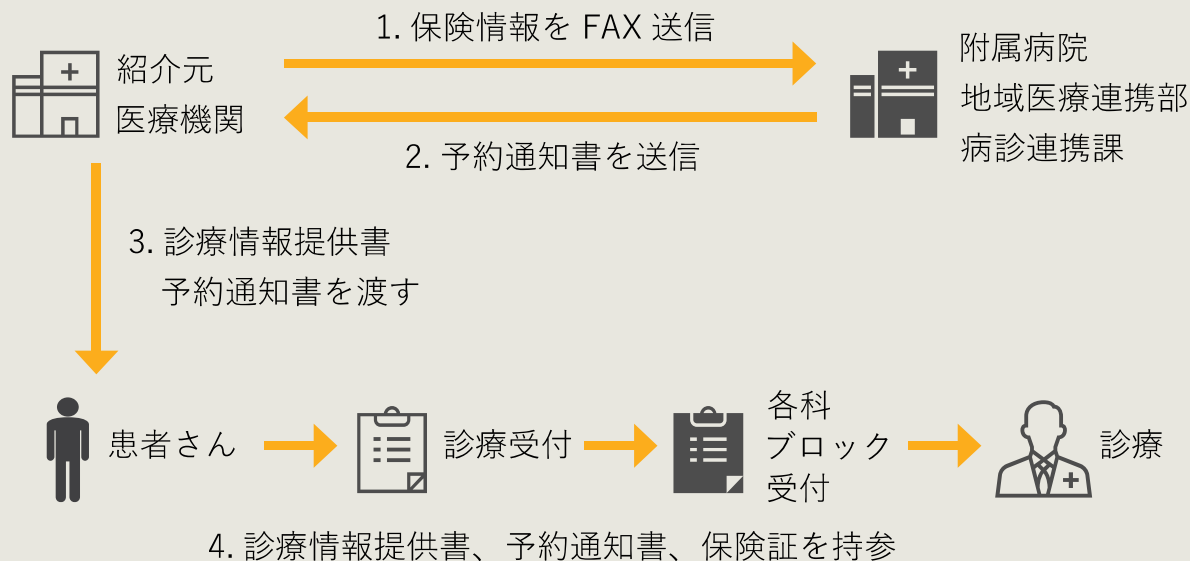
## ■ 外来診療日程

2018年11月1日現在

	月	火	水	木	金	土（第1.3.5）
午前		土井 崇		土井 崇		
午後		濱田 吉則 術後・術前外来 中村 有佑 重田 裕介		術後・術前外来 中村 有佑 重田 裕介		

## ■ 患者さんの紹介について

### 【紹介手順】



1. 患者保険情報連絡票にご記入いただき、FAX【072-804-2861】にて送信していただきます。
2. 送信いただいた患者保険情報をもとに当院の患者 ID を作成。  
予約をお取りして予約通知書を FAX いたします。
3. 患者さんに診療情報提供書と予約通知書をお渡しください。
4. 患者さんは 診療情報提供書・予約通知書・保険証を持って、予約時間の 20 分前までに総合受付の【地域医療連携窓口】にお越しいただきます。

※診療科、診療日、医師の指定がある場合は、FAX にご記入ください。

※用紙請求については当院 HP (<http://www.kmu.ac.jp/hirakata/download.html>) よりダウンロードいただくか、下部の連絡先にご連絡いただきますようお願いいたします。

※受付時間 平日：8:30～20:00、土曜日：8:30～12:30



関西医大病院外科 News

関西医科大学 附属病院

〒573-1191 大阪府枚方市新町 2-3-1

地域医療連携部 病診連携課 (地域医療センター事務局)

TEL:072-804-2742 FAX:072-804-2861

<http://www.kmu.ac.jp/hirakata/>